

ダム工学会「第3回水道ダム交流講演会」のご案内

主催：ダム工学会

協力：神戸市水道局／舞鶴市上下水道部／兵庫県土木部

協賛：公益社団法人日本水道協会／ダム工事総括管理技術者会／一般社団法人建設コンサルタンツ協会

水道ダムは日本の近代化において重要な役割を果たし、今でも市民生活の根幹を担っています。そこでダム工学会では、2024年の水道ダム行政の国土交通省への移管を機に「ダム技術者、水道関係者、ダム愛好家及び一般市民の交流する場」として「水道ダム交流講演会」を企画し、これまでに水道創設期の歴史ダムのある佐世保市（2025.1.16）と東京都村山市（2025.12.16）において開催しました。

今年度も同様に、神戸市水道局、舞鶴市上下水道部、兵庫県土木部の協力のもと、「第3回水道ダム交流講演会」（web参加も可能）を8月27日に神戸市において開催いたします。

また、同日午前には、近くにある布引ダム現地見学会も用意しております。さらに今回は、特別に翌8月28日に舞鶴市において旧海軍建設の桂取水堰堤と岸谷取水堰堤の現地見学会も用意しております。

ご興味のある方にはぜひとも参加頂き、より深く水道ダムについてご理解頂ければ幸いです。

8月27、28日の全プログラムは無料であり、それらの内容は以下の通りです。お手数ながら下記URLで事前申し込みの上で（締切りは定員満了時か8月25日まで）、ご参加いただけますようご案内申し上げます。

2026年7月

申込み URL：<https://forms.gle/Fdh7itiEkthEDgmMA>

一般社団法人 ダム工学会 活性化小委員会

【8月27日(木)】於：兵庫県私学会館、定員：会場参加 80 名+web 参加 400 名

講演会テーマ：神戸の恩人・佐野藤次郎博士と水道ダム三昧

国内近代ダムの歴史の上で欠かせない土木技師が佐野藤次郎（1869～1929）です。佐野博士は、日本初のコンクリートダムである布引ダムの建設（1900年完成）に携わって以降、神戸市民の暮らしを支える水道施設の基盤を築いたことで、今でも神戸の恩人として慕われています。佐野博士の設計したダムは神戸市3ダム以外にも全国にあります。これらは日本の近代化遺産として現在に引き継がれています。今回の講演会では佐野博士の設計した神戸市のダムと全国にある博士設計の数ダムについて今まで語られなかった面にも焦点を当てることで、水道ダムの新たな価値を見出し、現況課題解決への手がかりとするものです。

また舞鶴鎮守府の軍用水道は、神戸市と同時期に、佐野博士の師である吉村長策博士の指揮によって創設されましたが、同様の歴史価値と現況課題を有することから追加し、講演会の意義を高めています。

ちなみに今回、国内コンクリートダム第1号の布引ダムと第2号の桂貯水池堰堤（1900年完成）を扱うこととなりますが、これは日本の近代化の曙期を知る絶好の材料でもあります。

プログラム (受付)13:00 開会13:30～ 閉会16:00予定

MC：ダム愛好家 夜雀

開会挨拶 ダム工学会 会長：山口 嘉一

キーノート「国内海外の時代考証から語る新たな佐野藤次郎像」風土工学デザイン研究所 主宰：川崎 秀明

講演「舞鶴軍港水道と取水堰堤」舞鶴市近代化遺産保存センター 客員研究員：神田 秀之

講演「歴史的な水道ダム～布引ダムについて～」神戸市水道局 浄水統括事務所 所長：松田 康孝

講演「千苺ダムの治水活用について」兵庫県 総合治水課 施設班長：谷元 雅哉

総括 ダム工学会中部・近畿ブロック 委員長：角 哲也

講演会：兵庫県私学会館

ダム工学会 布引ダム現地見学会

定員40名、参加費 無料

開催：2026年8月27日（木）午前

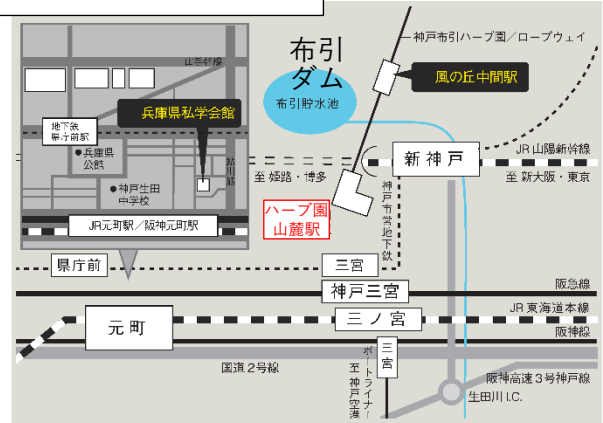
9:30 ハーブ園山麓駅 集合

9:30～10:00 風の丘中間駅へ移動

（移動：ロープウェイ）

10:00～11:30 布引ダム見学ほか

11:30の現地解散後は、参加者各位で講演会会場への移動をよろしくお願いいたします。



舞鶴編・【8月28日(金)】於：舞鶴市赤レンガ4号棟、定員：会場参加40名

パネルテーマ：舞鶴市水道の原点・海軍水道と土木技術

舞鶴市では、1901年の舞鶴鎮守府開庁に伴い、軍港建設と近代水道創設が為されました。水道の目的は海軍工廠や艦艇への給水であり、桂貯水池（1900年完成）と岸谷貯水池（1921年完成）が建設されました。

8月28日は、午前パネルディスカッション形式で、「どのような技術でダムが造られたか」や「それらが戦後どのように舞鶴市水道へ受け継がれたか」などという技術者・ダム愛好家等の視点から、舞鶴市水道事業の歴史について意見交換します。

語り部の神田秀之さんは、舞鶴市に現存する旧海軍水道施設や戦前に造られた第三火薬庫の水道について現地調査・歴史資料・構造調査をもとに、『舞鶴市の海軍水道遺構と杉山水源水道の調査報告 ― 初期舞鶴市水道の姿を探して』など、海軍水道に関する論文を数多く発表されています。

プログラム予定 (受付)9:30 開会10:00～ 閉会11:00予定

MC：ダム愛好家 夜雀

パネルディスカッション プレゼンター

舞鶴市近代化遺産保存センター 客員研究員：神田 秀之、風土工学デザイン研究所 主宰：川崎 秀明

ダム工学会 桂取水堰堤ほか現地見学会

定員40名、参加費 無料

開催：2026年8月28日（金）

09:30 舞鶴市赤レンガ4号棟 集合

パネルディスカッション 10:00～11:00

11:00～12:00 旧北吸配水池 見学・移動

12:00～13:00 昼休憩（赤れんがパーク）

13:20～15:30 見学：桂取水堰堤ほか

15:30～16:00 東舞鶴駅（解散可能）

16:00 舞鶴市役所（バス無料）解散

